

評価基準に基づく評価項目別の総合値 第2次審査

項目	評価のポイント	配点	参加者別評価値			
			パーソルプロセス&テクノロジー株式会社	NTTビジネスソリューションズ株式会社広島ビジネス営業部	みらいグループ企業体(みらい株式会社他)	
1 実施方針	○ 業務を実施するにあたっての基本的な考え方や業務のポイント等が押えられており、本業務の内容・趣旨を理解した上で実施する意欲があるか。	8	6.0	5.5	6.0	
2 業務内容						
(1)経営者向けセミナー	企画	○ セミナーの企画内容は、各回の開催目的を踏まえ、参加者の意識変容・行動変容につなげることが期待できるか。	16	9.0	12.0	13.0
		○ DX実践道場との連動が効果的に図られる提案となっているか。				
	登壇者	○ 経営者や講師などの登壇者は、各回の開催目的を踏まえ、適切かつ魅力的な提案になっているか。	20	10.0	15.0	12.5
	広報計画	○ セミナーの集客に向けた広報計画は適切であり、集客目標の達成が期待できるか。	16	12.0	10.0	11.0
	実施会場/運営体制	○ セミナーの実施会場は参加者にとって適切な会場が提案されているか。	12	6.0	7.5	6.8
○ セミナーの申込受付や運営(当日の会場運営やオンライン配信など全般)にあたって十分な体制を確保し、適切な対応が期待できるか。						
(2)DX実践道場	企画	○ 道場の企画内容は、業務目的を踏まえ、参加者の実践意欲の向上からDXの実践に至るまでの効果的な後押しにつなげることが期待できるか。	16	11.0	12.0	13.0
		○ 参加者の募集方法に関する工夫が業務の目的達成に向けて効果的か。				
	事前ヒアリング等	○ 参加希望者への事前ヒアリングや意見書作成について、道場を効果的に機能させるためのポイントや観点が明確であるか。	20	11.3	13.8	13.8
	伴走支援体制	○ 伴走支援を行う体制やコンサルタントについて、本業務を行う上で、十分かつ有益な実績や経歴、資格を有しているなど、DXに取り組みたい事業者等に対して取組方法を適切に指導・助言し、取組の成果をあげるための効果的な支援が期待できるか。	20	11.3	15.0	15.0
	支援機関との連携	○ 伴走支援に際して、地域の支援機関と連携した取組を円滑に行うことが期待できるか。				
	勉強会/伴走支援	○ 勉強会について、後工程である伴走支援に円滑につなげるために、効果的な内容となっているか。	20	11.3	17.5	13.8
		○ 勉強会や伴走支援(現状把握・課題分析、取組目標の設定、コンサルティング)の実施について、支援対象事業者がDXの取組に着手し、成果をあげるために有効な内容になっているか。				
		○ 伴走支援期間中において、参加者同士の交流を促進するためのツールや企画は適切かつ効果的な内容になっているか。				
	実践ガイドブック	○ ガイドブックの企画内容や作成イメージ等について、当該業務の目的を踏まえ、適切かつ魅力的であるか。	16	10.0	10.0	13.0
		○ 支援機関において、ガイドブックが効果的に活用される方策(工夫など)は、適切かつ魅力的であるか。				
(3)取組事例集	企画	○ 事例集の企画内容は、DXに着手したい民間事業者に対する効果的な後押しにつなげることが期待できるか。	16	8.0	13.0	12.0
		○ 事例研究会との連動が効果的に図られる提案になっているか。				
	収集事例	○ 収集する事例候補は、業務目的を踏まえ適切であるか。また、DXに着手したい民間事業者にとって、効果的な視点やポイントを提案できているか。	12	6.0	8.3	7.5
	構成等	○ 事例集の内容(構成案や作成イメージ等)が、読み手の理解促進や積極的な講読につながる内容になっているか。	20	11.3	13.8	13.8
(4)事例研究会	企画	○ 研究会の企画内容は、業務目的を踏まえ、参加者の意識変容・行動変容につなげることが期待できるか。	16	10.0	13.0	13.0
	登壇者	○ 講演者や講師などの登壇者は、業務目的を踏まえ、適切かつ魅力的な提案になっているか。	20	11.3	12.5	15.0
	広報計画	○ 研究会の集客に向けた広報計画は適切であり、集客目標の達成が期待できるか。	16	9.0	10.0	9.0
	実施会場/運営体制	○ 研究会の実施会場は参加者にとって適切な会場が提案されているか。	12	6.8	8.3	8.3
○ 研究会の申込受付や運営(当日の会場運営やオンライン配信など全般)にあたって十分な体制を確保し、適切な対応が期待できるか。						
(5)簡易診断ツール	企画	○ 診断ツールの企画内容は、DXに着手したい民間事業者に対する効果的な後押しにつなげることが期待できるか。	16	8.0	13.0	12.0
	構成等	○ 診断ツールの内容(構成案や作成イメージ等)が、利用者の実践意欲の向上や利用者の拡大につながる内容になっているか。	20	11.3	15.0	13.8
	解決策等の収集	○ 収集する解決策や補助金等の支援メニューの切り口や項目案は、業務目的を踏まえ、DXに着手したい事業者にとって、適切かつ効果的な内容になっているか。	16	7.0	11.0	9.0
(6)その他自由提案	○ 仕様書に記載されたこと以外に効果的な提案をしているか。	12	9.8	9.8	8.3	
3 スケジュール	○ 実現可能なスケジュールとなっているか。	12	6.0	6.8	6.0	
4 実施体制	○ 本業務を実施するにあたって十分な体制となっているか。	12	6.8	7.5	8.3	
5 経費	○ 経費の内訳は業務内容に見合った額となっているか。	12	6.0	5.3	6.0	
6 実現可能性	○ 提案内容は実現可能なものとなっているか。	12	6.8	6.8	6.8	
7 優位性	○ 本業務を実施するにあたっての提案者の優位性はあるか。	12	6.8	7.5	8.3	
評価値計		400	228.3	279.5	274.5	
委員全員の評価値の合計		1,600	913	1,118	1,098	